大村市新幹線フル規格ニュース No.6

令和6年度総会・シンポジウム開催

7月17日、長崎インターナショナルホテルにて、令和6年度の総会とシンポジウムを開催いたしました。

ご多忙の中、大勢の方にご来場いただき、誠にありがとうございました。 総会では、令和5年度の事業や収支決算についての報告、今年度の事業計 画や収支予算の説明を行い、すべての議案について原案のとおり承認可決い たしました。

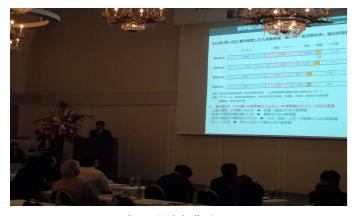
また、総会終了後にシンポジウムを開催し、講演やパネルディスカッションを行いました。

講演では、JR九州新幹線計画部の牛島部長と長崎県立大学の鳥丸教授に 講師を務めていただき、西九州新幹線の現況や新幹線が持つ多面的な機能等 について語っていただきました。

シンポジウムでは、大村市観光コンベンション協会の友廣専務理事のコーディネートのもと、園田市長、鳥丸教授、嬉野温泉観光協会の山口会長、大村商工会議所の時副会頭の4名にパネリストとして登壇していただき、全線フル規格化の実現に向けた熱い思いを語っていただきました。



総会時会長挨拶



鳥丸教授講演



パネルディスカッション



牛島部長講演

与党 P T検討委員会ヒアリング開催

7月24日(水)と30日(火)に、東京都の衆議院議員会館で与党整備 新幹線建設推進PTのヒアリングが開催されました。

7月24日(水)開催分では、園田市長をはじめ、嬉野市の村上市長、佐 賀市の坂井市長、佐賀県商工会議所連合会の峰会長が出席されました。

園田市長は大村市の特徴をはじめ、新幹線の開業効果、全線フル規格化が 実現した際の利点等を中心にプレゼンを行いました。

その中でも、将来的な開業が予定されているリニア中央新幹線と接続することで、長崎空港が西の玄関口となり、中四国や関西圏、アジアとの交流人口拡大が見込まれることを話されました。

また、フル規格になることで、被爆地である長崎県と広島県が2時間で繋がることは大きな意味があるとも話されました。

7月30日(火) 開催分では、長崎県の大石知事、佐賀県の南里副知事、 長崎市の鈴木市長、長崎県商工会議所連合会の森会長、JR九州の古宮社長 が出席されました。

長崎県としては、フル規格化によって関西圏からのインバウンド(訪日外国人)の取り込みを期待するほか、国のフリーゲージトレイン導入を断念したことを踏まえ、整備費の地方負担軽減を要望されたとのことです。

一方、佐賀県側は、武雄温泉~新鳥栖間について「在来線を利用する」という合意しかないと強調した上で、今後も長崎県、JR九州との3者協議や国との「幅広い協議」を続ける姿勢を示されたとのことです。

~会員募集のお知らせ~

現在、事業拡大の一環として、随時会員の募集を行っております! お知り合いの方に本協議会に興味をお持ちの方がいらっしゃいました ら、ぜひ、本協議会事務局までご連絡をお願いいたします!

発行元 大村市新幹線フル規格促進協議会事務局 大村市商工振興課交通政策室内 〒856-8686 大村市玖島 1 丁目 25 番地 TEL 0957-53-4111 E-mail koutsuu@city.omura.nagasaki.jp